

| 科目区分 | 専門分野 | 授業科目 | 小児看護方法論Ⅲ |
|--|--|-------------------|---|
| 講師名 | 桐生 晶子 | 実務経験の有無 | 有 |
| 単位数(時間) | 1単位(15時間) | 開講年次 | 2年次 後期 |
| 目的： 小児看護場面における看護技術と態度を養う 目標： 1) 子どものアセスメントに必要な技術を理解する。 2) 診察や処置および検査を受ける患児への看護を理解する。 | | | |
| 回 | 時間 | 講義内容 | |
| 1 | 2 | 小児看護における看護技術について | 1) 小児看護技術とは 2) 安全・安楽の視点 ・事故防止 ・感染対策 ・抱き方 3) インフォームド・アセント 演習 |
| 2 | 2 | 日常生活の援助 | 1) コミュニケーション 2) 日常生活援助 ・食事(調乳・経管栄養など) ・排泄(おむつ交換)採尿バッグ ・清潔援助 |
| 3 | 2 | アセスメントに必要な技術 | 1) プレパレーション 2) バイタルサイン 3) 身体計測 4) 身体的アセスメント 演習 |
| 4 | 2 | 検査・処置を受ける子どもの看護 1 | 1) 子どもにとっての検査・処置とは ・与薬 ・注射 ・輸液管理 |
| 5 | 2 | 検査・処置を受ける子どもの看護 2 | ・抑制 ・検体採取 ・骨髄穿刺 ・腰椎穿刺 |
| 6 | 2 | 検査・処置を受ける子どもの看護 3 | ・罨法 ・吸引 ・吸入 ・酸素療法 ・救命処置 |
| 7 | 2 | 小児 統合看護演習 | GW 事例検討 |
| 8 | 1 | 単位認定試験 | 筆記試験 |
| 講義方法 | 講義 グループワーク | | |
| 評価方法 | 単位認定試験、レポート、演習課題(GWの取り組み)など含め総合評価する | | |
| テキスト | 医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 参考文献：看護実践のための根拠がわかる 小児看護技術 メヂカルフレンド社 | | |
| 備考 | | | |